

評価シート

耐震	部位	壁	分類	開放型/外付型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	W-024a
<b>評価技術名称</b> 外付耐震補強工法ガンコモン G1					<b>連絡先</b> 株式会社 F 設計 <a href="http://fsekei.com">http://fsekei.com</a> 〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町 157 番地 電話 054-270-6364 Fax 054-270-6365			
概要	<b>技術概要</b> 建物外周の軸組み接合部（柱、土台、梁等）に沿って構造用合板を既存外壁の上から取り付け、建物の全体を補強する。既存外壁がモルタル塗りの場合はその上から取り付けて補強し、それ以外の場合は既存外壁の必要な部分を取り外し、軸組みに直接取り付ける補強工法である。							
	<b>技術の特徴</b> ・ 外部からの補強工法である。 ・ 仕上はサイディング等。ガンコモンの上に、胴縁を介し、建築基準法に則った仕上材を選択できる。 ・ 居住しながら施工が可能。					<b>コスト</b> サンプル構面 71,125 円/kN モデルプラン なし		
	<b>公的機関による技術評価・性能証明</b> 機関名 (一財)日本建築防災協会 評価番号 DPA-住技-22-1(欠番) 評価書の有効期限 平成 30 年 5 月 14 日(有効期限終了)					<b>実験実施機関</b> 静岡県林業技術センター 日本建築専門学校 その他		
仕様	<b>適用範囲</b> 構法 木造在来軸組工法、伝統構法 規模 2 階建て以下、500 ㎡以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 外壁部（もしくは内壁）の軸組部材の接合部廻り その他					<b>写真・図</b> 		
	<b>主要構成部材の仕様</b> G1 パネル: JAS 規格に適合する構造用合板 (t=12mm 等級 2 級 特類) 接合具: コーチボルト、ビス							
	<b>耐震補強性能</b> 評価仕様: モルタル外壁の上から補強、 壁スパン: 910 mm 上下張 (455+910) ガンコモン G1+モルタル(耐力 1.6kN/m、剛性 320 kN/rad/m) 壁基準耐力 壁基準剛性 3.04kN/m 490 kN/rad/m							
	<b>設計方法</b> ①柱頭、柱脚は、H12 建設省告示 1460 号に適合する仕口補強を行うものとする ただし、既存部位の状況により、それが出来ない個所で、ガンコモンG1を上下に設置し、引抜用増設コーチボルトを配した箇所は、柱接合部の種類による耐力低減係数、接合部Ⅱの欄の値を採用し、接合耐力の低減をする ②劣化に関し、取付部分が健全であることが前提							
	<b>施工者指定</b> (株) F 設計が実施する講習会の受講者が施工および管理を行う							
	<b>その他</b> 精密診断法1による評価が可能							

別紙:壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

耐震	部位 壁	分類 開放型/外付型	有効期限 2026年3月31日	評価番号 W-024a
評価技術名称 外付耐震補強工法ガンコモン G1			連絡先 株式会社 F 設計 〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町 157 番地 電話 054-270-6364	http://fsekei.com Fax 054-270-6365

壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

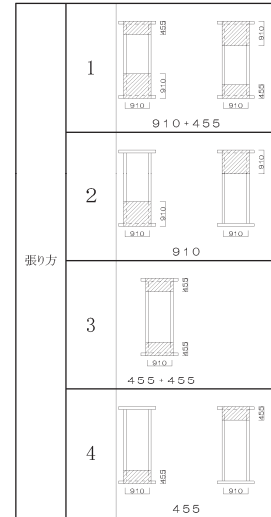
「壁基準耐力及び壁基準剛性」表

①ガンコモン G1 をモルタル外壁の上から補強する場合

表 1 壁基準耐力及び壁基準剛性 (kN/m・kN/rad./m)

張り方 ※1	壁スパン (mm)			JP 有※2 張り方	壁スパン (mm)			
	910	1820	2730		910JP	820JP	2730JP	3640JP
1 910+45	1.44	0.72	0.48	1-JP	1.01	0.50	0.33	0.25
	170	85	56		111	55	36	28
2 910	0.96	0.48	0.32	2-JP	0.67	0.34	0.22	0.17
	128	64	42		83	42	27	21
3 455+455	0.59	0.30	0.20	3-JP	0.41	0.21	0.14	0.10
	79	40	26		51	26	17	13
4 455	0.30	0.15	0.10	4-JP	0.21	0.11	0.07	0.05
	30	15	10		20	10	6	5

※1 表中の1~4は張り方を示す。



※2 表中のJPとは、ジョイント補強板有りの場合を示す。

仕様

- ・ 計算時耐力算定の際は、ガンコモン G1 とモルタル(耐力 1.6kN/m、剛性 320 kN/rad./m)を合算する。
- ・ 開口部も上記耐力表を性能値(壁)として算定可能。モルタル耐力は開口低減係数を乗じたものを合算。
- ・ 開口部として計算(開口低減係数を乗じる)の際は、開口低減係数の逆数を乗じた数値を性能値とし、モルタル(耐力 1.6kN/m、剛性 320 kN/rad./m)を合算したものを使用する。
- ・ 一般診断法に於ける開口部補強は、上記ガンコモン G1 耐力のみ算定可能。上記耐力表を性能値(壁)として算定。

②ガンコモン G1 を既存軸組に直張りで補強する場合

表 2 壁基準耐力及び壁基準剛性 (kN/m・kN/rad./m)

張り方 ※1	壁スパン (mm)			JP 有※2 張り方	壁スパン (mm)			
	910	1820	2730		910JP	1820JP	2730JP	3640JP
1 910+455	2.82	1.41	0.93	1-JP	1.98	0.99	0.65	0.49
	344	172	114		224	112	74	56
2 910	2.18	1.09	0.72	2-JP	1.53	0.76	0.50	0.38
	292	146	96		190	95	63	48
3 455+455	1.64	0.82	0.54	3-JP	1.15	0.57	0.38	0.29
	220	110	73		143	72	47	36
4 455	1.24	0.62	0.41	4-JP	0.87	0.43	0.29	0.22
	154	77	51		100	50	33	25

- ・ 開口部も上記耐力表を性能値(壁)として算定可能。一般診断法に於いても同様。
- ・ 開口部として計算(開口低減係数を乗じる)の際は、開口低減係数の逆数を乗じた数値を性能値とし、算定。

## 施工要領書

モルタル外壁の上から施行する仕様

W-024a

外付耐震補強工法 ガンコモンG1

1.ガンコモンG1  
搬入時



5.ガンコモンG1施工  
胴縁



2.施工箇所現況



6.サイディング張  
状況



3.モルタル外壁の上  
からコーチボルト  
で繋結



7.仕上



4.ガンコモンG1  
取付



8.コーナー水切り

